

# 地域に根ざした ネットワークづくりが大切

## — 仙台・浦安視察 —

日本共産党  
岡山市政ニュース

### 千葉県浦安市

#### 浦安市液状化被害

浦安市は、東京ディズニーランドに近い海沿いのおしゃれな住宅街として新しい住宅や、高層マンションが立ち並び子育て世代の憧れの町でした。しかし、地震による液状化で地割れ、飛び出したマンホール、倒れた電柱など、被害の惨状はおしゃれな街が一変してしまいました。ほとんどが埋立地という実態の中で液状化対策がどこまでとられていたのでしょうか？防災用緊急貯水タンクも液状化で飛び出しており、使い物にならなくなっていません。岡山市も貯水槽を備えた公園を作っています、あらためて想定外の想定まで考えた防災計画



発行者  
日本共産党  
岡山市議会議員団  
岡山市北区大供1丁目1番1号  
(市議会内)  
〒700-8544 電話(086) 803-1000  
8544 内線 2385  
一恵 潤みし  
田中 ぞよし  
河竹 林東  
No.246 (通254)

### 宮城県仙台市

#### 1) 山側の被害

青葉区の折立団地という山側の高台団地を見ました。地すべりがおきており、全壊、半壊している家がほとんどで、ライフラインも復旧しておらず、生活再建は困難です。被害状況を市が見に来て、全壊、半壊、要注意などの紙が個々の家に貼っていました。全壊、半壊以外は補償がないという実態の中で、家の中は住めるような状況になっていない方々は生活再建がより困難な実態です。認定自体を変える必要があると思いましたが。その中で、今、使える制度はないか？あらゆる情報を党仙台市議団として発信していました。



#### 2) 海側の被害

街が丸ごと津波に飲み込まれたような惨状が広がっていました。流された車に×印のあるところは犠牲者がみつかったところだと聞き、被害の大きさが感じられました。

宮城野区の中野小学校は、300人規模の学校ですが当日は、ほとんどの子どもたちと教員が屋上に逃げ寒い中一夜を明かし、ヘリコプターで救出されたとのこととです。仙台市では校舎の耐震化がすべて終わっており、校舎が全壊して被害が出たということはなかったそう、あらためてしっかりと対策をとっておく必要があると実感しました。

#### 3) 避難所視察

避難所になっていて高砂市民センターを視察しました。ここは、もともと市の防災計画では避難所として位置づけられていなかった

場所です。しかし住宅街の中にあったということと建物の中まで水が来なかったということ、震災直後は被災者が集中して避難所になったとのこと。岡山市のふれあいセンターのような施設で、市民活動の拠点、デイサービスなどの高齢者施設の併設で市民に親しまれていた施設です。被災直後は最高時1,000人近くまで避難してくる方がいたそうですが、避難所指定されていなくても、行政からまったく支援が受けられず水も食べ物も不足していたそうです。しかし「避難してきた方はすべて守る」という館長の強い理念とリーダーシップのもと、地域の施設や企業、日ごろからつながっているネットワークをいかし、食べ物、飲み物、毛布など全ての生活必需品を自力で調達し乗り切ったそうです。今では、ここから他の20箇所の避難所支援もしています。このとりくみから、日ごろの地域に根ざした、福祉、医療、介護の強いネットワークづくりと企業など支援団体とつながっておくことの大切さを学びました。また写真にあるように、ここはあえてパーティーションで仕切っていません。これは避難者の中には高齢者が多く、昼間は若い世代は仕事探しなど外に出ている中で高齢者がパーティーションで区切られていると孤立してしまい、体調管理もできない。また食べ物などためておくと不衛生になるということで見えるようにしたとのこと。市民センターが更衣室やシャワー室などに別にプライベートゾーンを確保できることで可能になったと思います。要は、その場所や避難されている方の条件、ニーズを把握して今何が必要かを判断できるキーパーソン、コーディネーターの方が重要です。そのためには日ごろからの防災意識、コミュニケーションへの理念形成が重要だと、この避難所の実態をみて実感しました。岡山市の防災計画の見直しの視点を学んだ有意義な時間でした。



党市議団は、今回の視察を活かし今後の岡山市の防災計画の見直し、防災のまちづくりに向けて全力を尽くす決意です。

# 岡山市の防災計画は…



## 岡山市の防災計画

岡山市では、住民の生命、身体及び財産をすべての災害から保護することを目的として、岡山市防災会議において岡山市地域防災計画を策定しています。計画には震災対策編と風水害等対策編、資料編があります。

3月に岡山市は岡山市地域防災計画の震災対策編と風水害等対策編の全面修正版を出しました。

今回の見直しにはまだ東日本大震災は反映されていません。今後、地震規模の想定見直しなどを反映させる必要があります。地震以外の各種災害は風水害等対策編で記述されています。



地震以外の各種災害は風水害等対策編で記述されています。

道路災害予防対策  
鉄道災害予防対策  
放射性物質の災害予防対策等の十一種類の災害予防対策を想定しています。



それぞれについて、市や事業者等の行うべきことが書いてあります。

## 想定はマグニチュード8.6

岡山市の被害が想定される地震は複数ありますが、県の想定で被害が最大となるのは南海トラフ(東南海・南海地震の同時発生、想定規模マグニチュード8.6)であることから、津波ハザードマップなどは東南海・南海地震による被害が記載されています。

## 避難所

地域防災計画では指定の避難所が定められています。

津波や火災を避けて一時的に過ごす避難所と、一定期間を暮らす生活避難所があります。生活避難所は市立小中学校の体育館が主で、収容可能人数は一人あたり1.65平方メートルで計算されています。

## 情報マップ

津波や洪水、地震による揺れなど地域ごとに想定される被害を表したマップや指定避難所を記載したマップが作成されています。

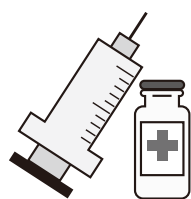


# 定期予防接種無料に!!

—東日本大震災で岡山に避難されている方—

東日本大震災の被災者が岡山市で避難生活する場合、転入届けが出ていなくても、ポリオ、三種混合、麻しん、風しん、日本脳炎、BCGの予防接種が無料で受けられることになりました。

選挙中でしたが、党市議団が高谷茂男市長に要望書を手渡し懇談、「1億円の義援金を予算化しておきながら被災者支援をどう考えるのか」と訴えました。その結果、「無料で接種できるように対応します」との回答がありました。



## 防災ヘリ格納庫は移転を!

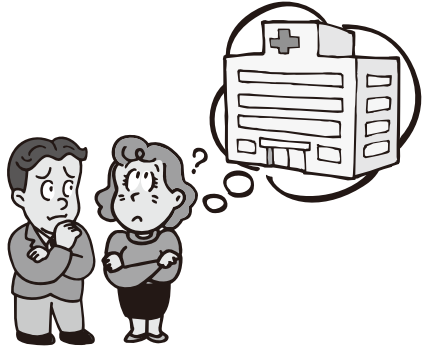
党岡山市議団は5月20日、南区浦安の岡南飛行場にある岡山市の防災ヘリ格納庫を視察しました。この地域は、地震が起これば津波や液化現象で飛行場や飛行場までの道路に被害が出る可能性が高いと見られます。党岡山市議団はヘリ格納庫の移転を提案しています。

格納庫と防災ヘリが飛び立つスペースは頑丈に作り、シャッターは手動でも軽く開閉できます。災害時には津波が来るまでに飛び立てるよう、格納庫からヘリを出し、隊員にもただちに集まるよう徹底しているとのことですが、液化化になると隊員がたどりつけないのでしょうか?よりベストな場所に移転することが望まれます。

# 旧深柢小学校 跡地説明会

## 川崎ありきでいいの…? —

中央南(旧深柢)小学校跡地活用方針(素案)についての説明会が、市主催で5か所、地域住民・団体等の主催をあわせると25回714人の参加で行われました。岡山市の素案は、川崎病院に貸し出すことが前提のような内容で、他の活用案を検討した形跡はありませんでした。市民の大切な財産である小学校跡地の活用について、公募や入札もせず、地代も提示せず、一企業に貸し出しを決めようとしているのはおかしい話です。同時にパブリックコメントの受け付けも行っていました。市側は素案を大きく変更する予定はないと説明。何のため意見交換なのかわかりません。



旧深柢小学校跡を川崎病院に貸し出すよう求めた陳情が、

党市議団と2名の保守系議員以外の賛成多数で採択し、2月議会が閉会。その一時間後に発生したのがあの痛ましい東日本大震災です。当初の想定を大きく超える規模の地震と津波により被害は甚大なものになりました。避難生活も長期化しています。岡山でも東海・東南海・南海地震が30年以内に発生する確率が70%と言われています。さらに、この3つが連動することも指摘されており、今も頻発している余震にいつ誘発されるもおおしくなさそうです。岡山市の大部分が液化化現象に見舞われること、北長瀬周辺まで津波に襲われることが既に予想されています。想定されているM8.6を超え、東日本大震災と同等のM9クラスの地震が発生した場合、被害が大幅に拡大することは間違いありません。早急な防災計画の見直しが求められます。今でも、岡山市では圧倒的に避難所が足りていません。特に、中心部では日中人口に対する避難所の収容率はわずか2.6%です。貴重な小学校跡地は、地元の方の避難所として残すべきです。

素案では、病院を一時避難

## 岡山市・市議会の支援は…?



### 超党派募金

震災後の3月16日岡山駅前で、市長と超党派の議員40人で募金活動をし、457,564円集め被災地へ届けました。議員

は1人2万円を募金しました。

### 岡山市の支援状況

- 被災地への支援
    - 岡山市議会は震災後すぐ、臨時議会を開催し、1億円の義捐金を決定。職員は幹部会・市労連が連名で904万円の募金を集めて日赤へ。
    - 職員派遣は…
    - 3月14日、緊急消防救助隊を延べ28000名派遣。
    - 3月29日、緊急ヘリコプターもたろうを派遣し1機職員5、6名の配置で31日間延べ1
    - 72名が、物資、人員の搬送に活躍。
    - 保健師を2名ずつ交代で3月21日、6月29日まで各避難所の健康相談、衛生対策に派遣。
    - 仙台市、心のケアチームの一員として、児童心理司・児童福祉司2名を4/24、4/29まで、精神科医を1名4/25、27まで派遣。
    - 環境局職員10人を、宮城県宮城郡松島町に派遣。
    - 4トンパッカー車2台、2トンダンブ車1台、連絡用普通車1台を派遣。45リットルごみ袋2万枚、70リットルボランティア袋1万5,000枚も支援物資として搬送。
  - 岡山市に避難してこられた方への支援
    - みずほ、東が丘、高島などの市営住宅を6月まで合計で75戸を提供。
    - 子どもの予防接種無料や市立後楽館高校の入学金免除。
    - 県内の民間バスの無料化
    - 税金収納の延期措置
- 詳しくは  
被災者相談所・保健福祉会館1階ロビー  
☎803-13588

## 農民連が東日本震災等について交渉

5月9日(月)日本農民組合連合会(農民連)が岡山市農林水産課と農政全般について懇談を持ちました。党市議団5人も同席しました。

た。東日本大震災の被災者たちに、百万トンを保有している備蓄米を有償でなければならぬと備蓄米放出をまったくしていないという事実が農民連から明らかにされました。全国から多くの人が自分の食べる米をも援助米として送っている中で、政府が無償で放出しないというものは何のためか、疑問を抱かざるを得ません。また、津波や震災それに原発事故による農地の被害や農業用施設被害により作付け不能となっている農地が膨大な面積となっており、米不足となること



が指摘されました。そこで、減反をやめて作付けを増やす必要があるが、すでに全国的にはほとんどどこかで田植えが終わっているで、今からでも間に合う岡山県南部地域に減反緩和をするように国に申し入れたらどうかと提案しました。国は、被災地の農家に1万5千円/10aの補償をするなら条件付きでした。被災者救援、コメ不足に対する対策など危機管理のかけらも感じられません。この上、TPP(環太平洋連携協定)など農業に壊滅的打撃を受けることには積極的な対応は必要です。

# 議会構成決まる

改選後の臨時議会が5月18・19日の予定で開かれ、正副議長、常任委員会、正副委員長、監査委員などを決めることが主目的です。開会後すぐ休会となり、水面下での多数派工作の攻防が深夜まで続きました。途中で市長から「私や当局職員を長時間拘束するな」の申し入れがあり、職務代理者として佐古副市長以下3人だけが当局側は残り、異例な中で調整が続きましたがこの日は何も決まりませんでした。19日の朝、最大会派の政隆会が、他の4派連合に敗れて、結論が出ました。結果、公明党の則武宣弘氏が議長となり、副議長は新風会の三木亮治氏に決まりました。わが党市議団は正々堂々と候補者を立てて戦いました。

## 議長選挙

則武 宣弘 (公明党)	27票
河田 正一 (共産党)	5票
宮武 博 (政隆会)	1票
無効票	17票

## 副議長選挙

三木 亮治 (新風会)	44票
竹永 光恵 (共産党)	5票
無効票	1票

## 日本共産党議員の所属

	◎委員長	○副委員長	
	常任委員会	特別委員会	その他
河田 正一	総務	にぎわい創出調査	
竹永 光恵	保健福祉	◎ワークライフバランス調査	
林 潤	○環境消防水道	豊かな循環型社会構築調査	議会運営委員
田中のぞみ	市民文教	ワークライフバランス調査	
東 毅	建設	防災危機管理等調査	

なお、議会改革についての検討する機関は今後調整することになりました。

## 議会のしくみ



### 議員定数

岡山市議会の地方自治法での上限は56人ですが、条例で52人と決められています。北区21人、中区11人、東区7人、南区13人で区ごとに選挙を行います。

### 請願・陳情

市の行政に対して要望のある方は請願や陳情をすることが出来ます。紹介議員がいるものが請願、いないのが陳情です。岡山市議会ではどちらも同様の扱いをしています。趣旨、提出年月日、請願・陳情する人の住所と氏名、捺印が必要で、請願の場合には表紙に紹介議員の署名か記名捺印がいられます。議会ごとに締切が設けられています。採択か不採択かが決まったものは議長が提出した人に結果をお知らせします。

### 継続審査

さらに調査や議論が必要とされ採択も不採択も決められなかった場合は継続審査となり次の定例会へ持ちこされます。

### 審議未了

継続審査が繰り返され、議員の任期満了まで結果が決まらなかったものは審議未了となり、提出者に連絡があります。引き続き、議会に要望したい場合は問題を整理して、時期にあった内容で再提出してください。

### 委員会

効率よく調査・審査をするために委員会が設置されています。

### 常任委員会

議案等を審査し、その結果を本会議に報告する常設の委員会です。また、市の事務に関する調査も行います。総務、保健福祉、環境消防水道、経済、建設、市民文教の六つがあります。

### 特別委員会

市政の重要課題や二つ以上の常任委員会の所管に関わる事柄を調査するため、議会の議決によって設置します。また、決算を審査するときに「特別委員会」を設置します。

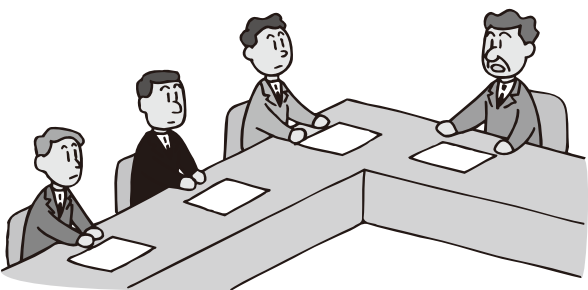
### 議会運営委員会

議会の運営を円滑に行うため、議会の運営方法を協議したり、議長から諮問された事項等について調査や審査を行います。

### 傍聴

本会議は議会棟北側一階の傍聴受付で、委員会は議会棟二階の議会事務局で受付をします。請願や陳情を出された方や関心のある事柄が議題に上った際には、ぜひ所管の委員会を傍聴してみてください。

委員会では回数や時間制限無しに議員が発言し、当局と生のやりとりをします。各会派や議員の考えがよく分かります。



## 6月議会日程

6月13日(月)	本会議
20日(月)	代表質問
22日(水)	～
22日午後	共産党
23日(木)	～
30日(木)	個人質問
7月1日(金)	常任委員会
4日(月)	常任委員会
6日(水)	本会議

予備日

ぜひ傍聴にお越しください。



## 編集後記

5月臨時岡山市議会が開かれ、各議員が担当する委員会も決まりました。党市議団はベテランに変わる新人2人の加入で平均年齢が11歳も下がりました。新鮮な感覚で、田中のぞみ議員は臨時議会の議事進行などに疑問を呈しています。東毅議員は南区選出として、流動化などの防災対策に意欲的に取り組んでいます。林潤議員は副常任委員長、竹永光恵議員は特別委員長になりました。河田正一議員の5人ががんばります。